

<受入研修>

省エネ支援事業の一環で受入研修を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託を受けて、AJEEP（ASEAN JAPAN Energy Efficiency Partnership）スキーム2の活動として、ASEAN 7カ国から9名の政策担当者を日本に受入れ、2019年9月24日～27日の4日間の研修を通して以下の取組みを実施しました。

- (1) ASEANの政策担当者から自国の省エネ状況、ロードマップ進捗状況、認証トレーナーの活動内容について報告、情報共有。
- (2) 持続可能なASEAN独自のエネルギー管理士認定制度構築に向けた討議。
- (3) スキーム2の延長に関する提案内容および新スキームの内容に関する討議。



METI 基調講演



研修風景



修了証授与



集合写真

スキーム2の一環として、ASEAN 10カ国におけるエネルギー管理士の育成強化ならびに管理士認定制度の構築・改善に資する人材育成事業の推進を目的として、ASEAN 7カ国から9名の政策担当者を招聘し、以下の研修を実施しました。

- (1) 各国のカントリーレポートから、省エネ進捗状況・ロードマップ進捗状況・認証トレーナーの活動状況を報告してもらい、情報共有しました。またJASE-Wの3社から最新の省エネ技術紹介をしてもらいました。
- (2) スキーム2終了後、ASEAN独自の持続可能なエネルギー管理士認定制度の構築に向けて、組織委員会・認定組織・ワーキング組織・マイルストーンなどの討議をしました。
- (3) 経済産業省から提案のあったスキーム2の延長に対する意見集約とポストスキーム2の内容について討議し、さらに継続討議の上、その結果を次回のEE&C-SSNで答申することとしました。

*AJEEP：ASEAN－JAPAN Energy Efficiency Partnership
専門家派遣と受入研修を通じてASEAN地域の省エネ人材を育成するプログラム